

○東部地区上下水道事業に関するタウンミーティング議事録

日 時：令和8年7月26日（日）

午前10時～11時30分

場 所：東部公民館

出席者：14人

【上下水道事業管理者からの説明】

【意見交換会】

・災害が起きて上下水道が破断した場合、上水道については給水車を派遣したりコンビニと提携したりして対応できると思うが、下水についてはどのような対応をとるのか。

（上下水道事業管理者）

避難所周辺にマンホールトイレの設置を順次進めています。マンホールトイレは、下水道管に接続されていますが、地震などにより下水道管が損傷した場合でも、し尿の汲み取りが可能な構造になっています。

・災害が発生したとき、上水道は断水していると、トラブルが起きているのだとすぐにわかるが、下水道で問題があるのかないのかを自分でも判断できるのか。

（上下水道建設課長）

下水道管がどこかで破損していたとしても、自分の家から破損している箇所までは流れてしまうので、見た目では問題が起きているのかどうかは判断できません。

災害が発生した場合は上下水道局で破損箇所をカメラ調査をするなどして、お客さまに被災状況について周知していきたいと思います。

・災害用トイレ（簡易トイレ）の備蓄率が、富山県は全国順位で39位らしいので、
皆さん簡易トイレの備蓄に努められるといいなと思う。

（上下水道事業管理者）

簡易トイレの備蓄は大事であり、飲料水等の備蓄とともに各家庭で対応を進めて
いただきたいと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています。（上下水道局経営管理課）